

# 製図試験.com 試験攻略マニュアル(仮)

---

ver.2017/12/01

## index

- はじめに
- 製図試験 com 試験攻略 3つのコンセプト
- 合格力とは何か – 必要な 3つの力
- 学習効率化 – 5つの学習ポイント
- Cf:製図試験 com 学習アイテム群について
- 製図試験 com インフォメーション



## はじめに

製図試験.com は常にバージョンアップしています。h29 の総括をバネに 30 ヶ所以上の変更を行いました。大きな変更は、次の 5 点です。①これまでの通信添削を止めオンライン添削と課題教材販売に変更 ②メンバーズサイトを止め即時解答性の高い LINE ライクなグループコミュニケーションアプリ BAND を導入 ③オンライン web セミナーアプリ ZOOM の導入を導入 ④エスキース等の自学自習にオンライン動画講座を導入 ⑤速読技術・反転授業・アクティブラーニング等の新たな方法の導入、です。これにより、個別指導に重点を置きつつ、地方で学校が遠方の受験生や自宅を出られない受験生が自宅でもほぼ講習会レベルの講義と添削が受けられるようになりました。

少なくとも製図試験.com の h30 受講生はこの優位性を利用して学習受験が可能となるでしょう。そのため、このテキストは新たに書き起しました。また、資格学校生、他サイト利用者にも参考になるようにも配慮しました。

## 製図試験.com 試験攻略 3つのコンセプト

### ① 合格力を身につける

合格するための力として、読解力、計画力、作図力、要点作文力が必要であることは、受験生なら全員ご存じだと思いますが、それらを身につけたとしても全く合格できていない現状があります。そこで昨年度までの試験を再度見直し、多くの受講生とディスカッションし、前述の力を**基礎知識力**とし、別途、**課題対話力**、**地頭力**の2つの能力開発を加えて、新たに**合格力**としました。

### ② 学習効率を上げる

受験生はほとんどの方が忙しい方ばかりです。まとまった時間はなかなか取ることができません。ではどうするのか。学習効率を上げる。これが至上命題です。学習効率とは何か。それは学習の量と質に尽きます。時間効率よく忘却曲線と戦いながら、確実に短期間で質の高い学習を積み上げることです。具体的には、**弱点補強方法の強化と問題点に対する即応性**をいかに挙げるべきかであると結論しました。

弱点補強方法として弊社では、エスキースを細分化して徹底的に鍛えるオンライン講座、お互いが教えあえるしくみ化（アクティブラーニング）、問題点に即応するオンライン添削、ZOOM、BAND アプリの導入を行います。

### ③ ①②をリーズナブルに提供する

ですが、①②について多額の費用をかけて資格学校より高くなるとは意味がありません。弊社は自社ビルもなく、営業も事務も雇用していません。その分を全て価格に反映させて運営していこうとしています。資格学校の営業の方からすれば、こんな身軽な運営をされては身も蓋もないのですが、もうそういう時代なのです。できる限りリーズナブルに良質なコンテンツを提供するのが弊社の使命です。

# 合格力とは何か

## 3つの合格力

### 1) 基礎知識力

読解・計画・作図・要点作文能力を基礎知識力としました。資格学校に通われている方には、課題を解くものの、読解ができていますか？計画（エスキース）はできるのか、というと全くできていないのに問題を解いているだけという方が多いように思います。基礎知識力がついていないのに一式図を描くのは非常に非効率。図面を描く前にしっかりエスキースプロセスを踏むべきです。製図試験 com では、読解・計画力については、オンライン動画講座で一通りマスターするまでは、原則的に課題を解かないようにすることにしました。

まず徹底的に読解・計画についてたたき上げる。これが製図試験 com の基本です。

### 2) 課題対話力

さて、基礎知識能力がきちんと身についた方なのに、実際の試験には不合格になる方が確実におられます。これは、問題が意図していること＝問題との対話能力にスキがあるからだと考えられます。製図試験 com では、このスキを埋め合わせていく方法論を模索しています。

ひとつは、問題への即答力、もうひとつは問題への経験値の応用です。このあたりを詰めないことには安定した合格は見込めません。さらに単に問題を解くだけでなく、毎回の振り返り学習が非常に重要になります。

### 3) 地頭力（じあつまりょく）

製図試験 com がここに言及するにはそれなりの過程がありました。製図試験で基礎知識力があり、課題対話力もそれなりに身につけてきたのに何度も合格できない受験生に地団駄ふんできました。そして様々なテキストや方法論を試みてはノウハウ化してきましたが、h30には、細谷功先生の著作である「地頭力を鍛える」をサブテキストと位置づけ、その中で説かれている「地頭力」こそ、合格に必要な3つめの力としました。（細谷先生にはサブテキストとすることに快諾いただいております）

## 基礎知識力

エスキースを覚えてもらったことはあるでしょうか。製図試験 com では、平成 29 年度「ステップで効力するエスキース」を学芸出版社から刊行しました。設計製図試験用のエスキース(ESTEP®)によって、全ての課題は 13 ステップで解答できるようになりました。また計画から作図については、パーツ集が非常に有効でパーツ集を中心に学ぶことが重要となります。

合格するための基礎的な知識力は既に方法論的に確立しています。しかし、曖昧な理解になっていないか、繰り返し学習して確実に身につけているのかについては、「社会人なんだから」ということで確認することはあまりしてきませんでした。ですが、本年度は、この部分を動画化・チャート化し、徹底的に学んでいただくことを前提としています。

### ①読解力 問題文を正確に読み解く力

実は読解の段階で、チェックが抜けている受験生が圧倒的に多いのです。初動ミスは最後まで全体に影響がでます。ESTEP を利用して、確実に読解ミスを減らしつつ、問題文と対話することが求められています。

### ②計画力 読み解いた問題文からエスキースする力

多くの受験生が「エスキースが苦手」と感じているのではないのでしょうか。その原因は先の読解不足、そしてエスキースのゾーニングとプランニングの混同にあります。またプランニングを早くまとめるには、プランニングパーツを利用する方法が最も効果的であり、その練習が不可欠です。

### ③作図力 エスキースを作図する力

3 時間で描ききれない受講生の多くは、「手がそもそも遅い、手戻りが多い、工数が多い、手が止まる」の 4 項目のどれかを踏んでいます。その原因を明確にし、かつ乗り越えるための練習が必要です。

### ④作文力 要点を作文する力

要点の作文については、計画を説明することと理解して暗記することが求められています。説明の仕方、出題されるポイントについて、試験作成サイド JAEIC は解答を公開していないため、独自過去問題集・テキストを作成しています。

### 上記 4 つの力を身につけるために。

弊社では、「ステップで攻略するエスキース」及びサブテキストを作成すると共に、1 月から 3 月にかけてオンライン動画講座を行います。この動画講座のみを単独で受講することも可能です。オンライン添削生・BMS 塾生は必須となっています。

## 課題対話力

「問題文という名のクライアントは、何を求めているのか。」弊社では、これが製図試験に求められている受験生の姿だと考えています。

基礎知識力をつけた上で、このクライアントと対話＝問題を解くことが非常に重要になります。資格学校によっては、とにかく多くの課題を解かせる＝多くのクライアントと話をする方法を利用しています。これもひとつの方法なので、資格学校に通われている方は多くの「対話」を試してみてください。

ただし、基礎的知識力がないのに一式図 6 時間半トライを何回もやるのはあまりに効率が悪く、かつ前近代的です。必ず弱い不明な部分は、基礎知識力不足として、弱点補強しておくことが肝心です。

### 課題対話力（課題を解く力）を身につけるために。

弊社では、前半戦は 4 / 5 / 6 月に毎月課題及び 7 月に模試を、h30 課題発表後には、8 月 2 課題、9 月 2 課題の計 4 課題及び 10 月に模試を行います。また h30 は公共施設型課題が出題されると予想されるため、基準階型ではなく、前半戦の課題は全て「コミュニケーションセンター」を取り上げます。

さらに昨年度までの通信添削を大きく改め、課題解説指導に、グループコミュニケーションアプリ BAND と双方向オンラインアプリ ZOOM を導入します。これにより、疑問点に対する即応性、双方向性が担保されると確信しています。

## 地頭力

「建築すること」を「情報を集め、カテゴリを設定して分類し、使える形でストックすること」と定義している製図試験 com にとって、細谷功先生の「地頭力を鍛える」はうってつけのテキストです。本年度はこのテキストをベースに製図試験に取り組むこととしました。同テキストでは、問題解決のための地頭力を次の 3 点とし、それをどう鍛えるのかを展開しています。

### 問題解決のための 3 つの思考

#### ①仮想思考 — 「結論から」

現時点の情報だけで最も可能性の高い結論（仮説）を想定し、結論に向かって、精度を上げて検証するアプローチ

#### ②フレームワーク思考— 「全体から」

課題全体を俯瞰する力と、部分に分解する力から問題点(ボトルネック)を発見するアプローチ

#### ③抽象化思考 — 「単純に」

課題の特徴を「単純化」「モデル化」して捉え、一般化した上で問題解決に当たる思考

### 地頭力を身につけるために。

まず細谷功先生の「地頭力を鍛える」を読むようにしてください。さらに弊社では、課題を解くことを通じて、常にこの 3 点を意識することを行います。「結局どういうプランになるのか」「全体から照らし合わせたときにその課題はどこがボトルネックになるのか」「それって単純にいうとどういうプランイメージなのか」この 3 点の問いかけを有効活用します。

# 学習効率化—5つの学習ポイント

製図試験 com では学習効率を上げるために、以下 5 点のポイントを掲げています。

## ①自己分析の徹底

自己分析なしに学習の効率化はできません。1月に自己分析課題を行い、他受講生や講師からフィードバックを体験しましょう。製図試験 com では代表的な答案の解説をしていますが、本年度はオンラインで双方向化したやりとりが可能になります。

## ②過去問題分析の徹底

自己分析と共に、過去問題分析もやってきたつもりでしたが、全くまだ甘かったと反省しています。単に過去問題を見た、読んだ、解いたくらいで、過去問題分析をしたとは言いがたいのではないかと考えています。そこで h30 は、コミュニティセンター系の雛形課題として、h14、h19 の過去問題を徹底的に取り上げます。全てのリソースは過去問題にあり、h6 からの過去問題も解説していく予定です。ます。

## ③自己・過去問題分析による弱点補強の徹底

①②での分析を元に、弱点と思われる部分を徹底的にメドがつくまで反復学習し、弱点補強する必要があります。弱点を埋めることこそ製図試験合格への王道です。

## ④時間の有効利用

昨年度より模試以外で講習会中に 6 時間 30 分の一式図を描くことは時間のムダになるので止めることにしました。反転授業といって、できる限り事前にオンラインで学習し、セミナーではワークからはじめようと考えています。また、製図板の上だけが製図試験勉強スペースではなく、5分10分のスキマ時間を利用することが非常に重要になります。朝晩の通勤時間、昼休み、ちょっとカフェに寄った時間等、細切れの時間であっても学習できるしきみを作りましょう。製図試験 com では、宇都出雅巳先生による速読をベースにした KTK（高速大量回転）学習法を取り入れ、指導してまいります。

## ⑤互いに教えあう協働学習

互いに教えあうのは効率が悪いのでは？と思う受験生も多いことと思います。ところが記憶への定着、新たな視点での学習、そして何より教えた側が最も深く学習できるのが協働学習です。共に学ぶ友人関係を作り、教え合い高め合える協働を試みていきましょう。

# 攻略スケジュール

前半戦で確実に基礎知識力と問題対応力をつけて、後半戦に臨むこと。合い言葉は、7月末までに 80%できあがること。80%とは①エスキース手順の把握、②3時間作図、③基本パーツ集の習熟の3点です。学科組は、学科試験後から8月10日までが勝負となります。

製図試験攻略スケジュール

ver.17/12/01

項目\日程	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	備考	
	前半戦						後半戦					
	基礎知識力			問題対話力			h30問題対話力					
自己分析課題	○										問題文無料公開	
オンライン合格基礎講座	○			○			○				1/4/7月は同内容 (O/L)	
前半戦通信添削3課題				1	2	3					課題配布とオンライン添削あり	
シンクロ模試							○				6時間30分一式	
オープン課題							○				問題文無料公開	
後半戦通信添削4課題								1	2	3	4	課題配布とオンライン添削あり
シンクロ模試										○	6時間30分一式	
ガイダンス	○						○				何でもお答えします	
セミナー (東京・大阪O/L)		○	○	○	○	○		○	○	○	○	計10回程度を予定

# Cf:製図試験 com 学習アイテム群について

## 学習アイテム構成

製図試験 com は 6 つの学習アイテム群から構成されています。

### A. 無料メールマガジン（必須）

無料メールマガジンを全受験生に配信しています。製図試験 com の全ての情報はこのメルマガがスタートラインです。

### B. オンライン合格基礎講座

読解、エスキース（ゾーニング・プランニング）、作図、要点の基礎を解説するオンライン講座で単独受講可能。添削生は必須です。

### C. 通信添削課題教材セット

製図試験 com の全資料とオンラインによる課題解説が受講できる教材セットです。添削をなくしてリーズナブルにしました。

### D. オンライン個人添削指導（OPC Online Personal Correction）

実際の通信添削課題を使って、ZOOM アプリによる双方向通信により個人指導をオンラインで行います。

### E. セミナー

実際の通信添削課題を使って、枚課題毎に講習会を開催し、個人指導します。前半戦 5 回、後半戦 5 回を予定。反転授業、アクティブラーニングも取り入れて、より協働できる学習環境を目指しています。単発のセミナー参加も可能です。BMS 直接指導塾では、開催する全セミナーを含んでいます。

### F. その他学習教材

サブテキスト、製図用具等の販売も行っています。

## 4 つのコースについて

本年度は上記の 6 つの学習アイテムを組み合わせ、次の 4 つの学習コースを策定しています。

学習コース	A	B	C	D	E	対象者
1. 基礎知識習得コース	○	○				エスキース手法を中心に基礎知識を身につけたい方
2. 課題教材支援コース	○	○	○			資格学校に通っていて添削は不要だが教材が必要な方
3. OPC オンライン個人添削コース	○	○	○	○		オンラインで直接添削指導を受講したい方
4. BMS 第 2 期直接指導塾コース	○	○	○	○	○	直接指導を受講したい方（東京・大阪）

昨年と異なる特徴としては、これまでの通信添削コースを廃止し、教材のみと、オンライン個人添削指導のあるものに分けたことです。

特に地方の方にとって、オンライン個人添削指導は、非常に強力なコースとなると思われます。

コースは途中でバージョンアップすることが可能ですが、OPC 及び BMS には定員がありますので、満席となった場合はご了承ください。

平成30年度製図試験.com 4コース一覧

ver.17/12/01

	A		B		C		D		E		費用合計			定員	備考
	無料メルマガ他		合格基礎講座		課題教材セット		O / L 添削指導		セミナー		前半	後半	通期		
	通期	0	通期	0	前半	後半	前半	後半	前半	後半					
0 製図受験生支援	0										0	0	0	なし	無料メルマガ配信+自己分析課題、オープン課題問題
1 基礎知識習得コース	0	39,800									39,800	39,800	39,800	なし	A+オンライン講座(エスキース、作図、要点)+テキスト+PDF+h30エスキース帖+パーツ課題キースト
2 課題教材支援コース	0	39,800	39,000	47,000							78,800	86,800	108,000	なし	A+B+通信課題(@8,000)3+4=7課題+模試(@15,000)2課題+BAND(質問用アプリ)+ZOOM(オンライン講習アプリ)
通信添削コース	0	39,800	39,000	47,000	24,000	32,000					102,800	118,800	181,800	なし	本年度は募集しません。
3 オンライン個人添削コース	0	39,800	39,000	47,000	54,000	72,000					132,800	158,800	224,000	36名	A~D+ZOOMによる双方向型オンライン添削+個人フォロー(@10,000)
4 BMS II 直接指導塾コース	0	39,800	39,000	47,000	54,000	72,000					192,800	218,800	324,000	24名	A~D+ZOOMによる双方向型オンライン添削+個人フォロー(セミナー)(@12,000)10回分(2,3,4,5,6月+8月9月2回+α)

備考

- 1.メルマガで全ての情報を発信します。必ず登録をお願いします。Http://seizushiken.com/mnz/
- 2.オンライン講座はUdemyで行います。(http://udemy.com) クーポンを発行しますので独自には申し込まないよう。
- 3.オンライン講座アプリUdemy、添削生質問用アプリBAND、オンライン添削用アプリZOOMは、それぞれパソコン、iOS、Android版がありますが携帯では使えません。
- 4.オンライン個人添削コースはZOOMによる双方向個人指導及び解説をします。(地方の方オオスミ)
- 5.BMS (BasicMethodSchool)第2期生は東京12名(日)大阪12名程度(水)(土)を募集しますが、前半戦は繰りかえす予定です。
- 5.BMSは直接講習 (@15,000)とし、反転授業、アクティブラーニング等を取り入れ、受講生間のコミュニケーションを中心に組み立てます。



## 学習アイテム解説（このページは 12/10 更新予定）

### 必須図書

#### 「ステップで攻略するエスキース」 山口 達也 学芸出版社

製図試験用エスキースを 13 ステップで解説。これ以上でもこれ以下でもなく、エスキースの方法論は全てこの 1 冊で攻略できます。

オンライン動画講座はこのテキストをベースに行います。



### 推薦図書

#### 「地頭力を鍛える 問題解決に活かす「フェルミ推定」」 細谷 功 東洋経済新報社

3 つめの学習軸である「地頭力」はこのテキストから参考にしていきます。

一級建築士取得後も必ず役に立つテキストです。



#### 「仕事のミスが絶対なくなる頭の使い方」 宇都出 雅巳 クロスメディア・パブリッシング

高速大量回転法の提唱者で山口の速読術の師匠でもある宇都出先生の快著。

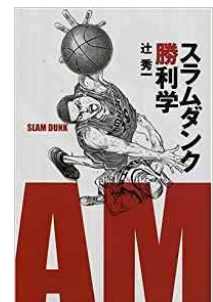
これ 1 冊で合格する人も出てくるミスをなくすためのノウハウテキストです。



#### 「スラムダンク勝利学」 辻 秀一 集英社インターナショナル

スポーツメンタルをスラムダンクから読み解いた好著。

辻先生は何冊かありますが、スラムダンクを読んだ方はこのテキストが一番読みやすいと思います。



## 製図試験 com インフォメーション

名称：製図試験 com

(<http://seizushiken.com>)

運営：有限会社 I.L.D.

連絡先：〒554-0012

大阪市此花区西九条 2-7-8 田丸ビル 3 階

電話 06-7181-3701 FAX 020-4665-1911

メール：[guchi@seizushiken.com](mailto:guchi@seizushiken.com)

銀行：ジャパンネット銀行すずめ支店

（普）3175127 コ）アイエルディ

郵便振替：00970-2-222802 コ）アイエルディ

関連サイト：

FB <http://facebook.com/seizushiken/>

ツイッター <http://twitter.com/seizushiken/>

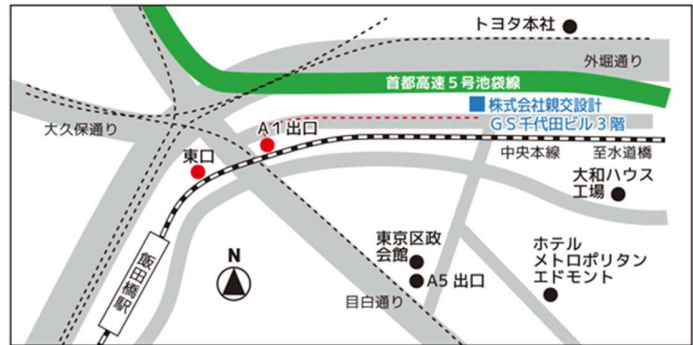


東京講習会場：

親交セミナールーム

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 3 階



JR 中央本線飯田橋駅東口より徒歩 5 分

東京メトロ飯田橋駅 A5 出口もしくは A1 出口より徒歩 4 分



主宰：山口 達也（ハンドルネーム：曾根 徹）

1962 年 11 月 26 日生

大阪工業大学建築学科都市計画研究室

神戸大学環境計画学専攻、工学修士（早川和男研究室）

阪神電鉄就職後、レンゾピアノビルディングワークショップに転職。

都市計画コンサルタント、経営コンサルタント、CM 会社等を経て、

有限会社 I.L.D. を設立。セルフビルディング中心に設計活動の傍ら、

2000 年に「学科製図.com」を設立。

17 年間で 2,600 名以上の一級建築士を輩出。

2015 年コンテンツをまとめなおし、「製図試験.com」を立ち上げ。

一級建築士設計製図試験だけに特化したしくみを開始。

業界初のオンライン添削・ZOOM ウェビナーを開始。

2018 年より学科試験.com も同時に主宰。

このマニュアルは 2017/12/01 現在のものです。

コンテンツの無断利用は固く禁じます。

Copyright © 製図試験.com All rights reserved.